

**日本共産党**  
**すみだ区議団ニュース**  
 第510号  
 発行 日本共産党墨田区議会議員団  
 発行責任者・高柳東彦 / 編集責任者・としま剛  
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326  
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

# 「新型コロナ感染拡大の防止に全力を」 「ケアに手厚い墨田区政へ転換すべき」

## 決算特別委員会で あさの清美区議が主張



決算特別委員会で意見を述べる、あさの区議

2019年度の墨田区一般会計と、3つの特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）の決算を審査する区議会決算特別委員会が、10月15日から11月5日にかけて8日間の日程で開かれました。

日本共産党墨田区議団からは、はらつとむ区議、あさの清美区議の2人が委員となり、区政の問題点を指摘するとともに、切実な区民要求の実現にむけて積極的な論戦を行いました。5日には、あさの区議が「区民の暮らしを守る役割を果たしていない」と決算の認定に反対する意見を述べました。

### 暮らしや営業、命をなによりも大切に政治へ

**あさの** この間、「自己責任」の名で、福祉・医療・介護などの制度改悪と財政抑制、国民の負担増とサービスの切り下げが行われてきた。さらに、「小さな政府」の名の下で、「官から民へ」と行き過ぎた規制緩和や行政改革、大企業優遇の政策が進められてきた。

コロナ危機のもと、この暮らしや営業、命をなによりも大切に政治へ

あさの 区は、「国際観光都市」をめざすとして、観光拠点づくりなど再開発事業を優先する財政運営を見直し、中小企業振興基本条例に基づく「内発型」の産業振興へと再転換を図ること。行財政改革や公共施設マネジメントを見直すことが必要だ。

政府と専門家会議が提起した「新たな生活様式」の下では、ゆとりのある、身近に利用できる公共施設の

### 国保料や介護保険料の値上げする一方で、観光まちづくりにも多大な税金の投入は問題

**あさの** 決算年度の予算を見ると、全区立中学校への空調設備の整備、就学援助の拡充、産後ケアの実施など評価できる施策もあるが、区民の暮らしと営業を守るための新たな施策がない。

それどころか、高過ぎる国民健康保険料と後期高齢者医療保険料を更に値上げし、介護保険料も引き下げしていない。

一方で、大学誘致のために旧中小企業センターの大規模改修に総額で約30億円も計上したが、その財源は、区民の借金となる区債と区民の貯金である基金の取崩しだ。北十間川



大学誘致のための改修現場(旧中企センター)を視察する高柳区議と、としま区議

### 中小企業振興基本条例に基づく「内発型」の産業振興へ再転換を

**あさの** 区は、「国際観光都市」をめざすとして、観光拠点づくりなど再開発事業を優先する財政運営を見直し、中小企業振興基本条例に基づく「内発型」の産業振興へと再転換を図ること。行財政改革や公共施設マネジメントを見直すことが必要だ。

政府と専門家会議が提起した「新たな生活様式」の下では、ゆとりのある、身近に利用できる公共施設の

### PCR検査・保健所体制の拡充を

**あさの** 新型コロナの感染再拡大が懸念される。PCR検査を抜本的に拡充し、無症状の感染者を把握・保護するなど、積極的検査へ転換が必要。医療機関は疲弊しており、政治的責任で財政的補償を行うべき。区も、区内医療機関の実態把握に努め、適宜・必要な支援を行うことを求める。

保健所も、抜本的な体制強化が必要。新保健施設の整備による向島保健センターの廃止はとりやめ、保健所機能を充実させるべきだ。暮らしと営業、雇用の危機はきわめて深刻。雇用調整助成金や持続化給付金、休業支援金などの給付内容の拡充、手続きの簡素化、消費税の5%への減税と納税免除などを、国に強く働きかけよ。区独自の暮らしと営業を守る対策を抜本的に拡充せよ。

### 少人数学級の早期実現を

**あさの** コロナ禍のもと、学校において、ソーシャリティスタンスを確保するために、1人ひとりの子どもに丁寧な対応をするためにも、少人数学級の早期実現を望む声が高まっている。

区教委として、国や都に強く働きかけるとともに、ネックとなっている空き教室の確保に向けて、個々の学校ごとの具体的な計画を立案し、今から計画的に整備を進めるべきだ。

### 自衛隊員募集に関する個人情報の提供はとりやめよ

自衛官の募集事務で対象者の名簿を提供している自治体があり、問題となっています。その根拠は、自衛隊法第97条と同法施行令第120条ですが、これは都道府県知事又は市町村長に対し「必要な報告又は資料の提供を求めることができる」としているだけで、自治体側に提出義務はありません。これまで墨田区では、住民基本台帳の閲覧だけを認めてきました。

ところが決算特別委員会で、自民党の質問に答えて、自衛隊がほしい情報(15歳)に絞り込んだ名簿を作成し、閲覧に供するとの答弁がなされました。

日本共産党は、住基台帳全体の閲覧ではなく、特定個人の名簿作成と閲覧は、プライバシーの侵害になり、個人情報保護の流れに逆行すると厳しく批判し、そのような取り扱いを行わないよう強く求めました。



**視兵** ▼宮城県の前井知事が、東北電力女川(おながわ)原発2号機の再稼働に同意しました。2011年3月11日の東日本大震災で被災した原発の再稼働について地元自治体が同意したのは、初めてであり、再稼働を推進する菅義偉政権や知事の姿勢は重大です▼女川原発の半径30キロ圏内には約20万人が暮らし、ますが、県の試算でも石巻市の人の多くが避難するには5日以上を要するなどと、安全性が確保されていないと見られます。地元紙の世論調査でも、再稼働に支持が7割以上です。県内の市町村長会議では、県民の声を踏まえた判断を求めています▼一方で、菅首相は所信表明で「2050年までに温室効果ガスを全体的にゼロにする」と言い出しました。原発は、発電時に温室効果ガスを出さないといいますが、放射性廃棄物の処分や原発事故など、環境破壊を招きます。福島原発事故への反省もなく安全と住民の懸念を置き去りにした原発再稼働の加速を狙う菅政権は許せません▼日本共産党は、原発ゼロを掲げ、自然エネルギーへの転換を訴えてきました。これは野党の統一政策になりつつあります。きたるべき総選挙で、温室効果ガスも、原発もなくしていく政府を実現しましょう。

# 墨田区議会定例会11月議会 11/26～12/10

## 日本共産党の代表質問に あさの清美区議 一般質問に としま剛区議



あさの清美区議



としま剛区議

墨田区議会定例会11月議会が、11月26日から12月10日までの日程で開かれます。日本共産党区議団は、あさの清美区議を代表質問に、としま剛区議を一般質問に立て、来年度予算編成の基本的な考え方など、コロナ禍のもと、ケアに手厚い区政への転換を求めて全力をつくします。

# 認知症対策、ストックヤード整備など、 区民要求実現にむけ 決算特別委員会で積極的な論戦

区議会決算特別委員会で、はらつとむ、あさの清美の両委員は、区民の切実な要求実現、課題解決のため、積極的な論戦を行いました。

## 自分らしく生きる認知症対策を

### あさの区議が提案

本年10月、世田谷区では「認知症とともに生きる希望条例」が制定されました。その前文の中で「認知症になってからも、暮らしていくうえですべての記憶を失うわけではなく、本人の意思や感情は豊かに備わっていることが明になってきており、尊厳と希望を

もって『自分らしく生きる』ことが可能で「す」と謳っています。あさの区議は、「世田谷区の条例では『常に本人の視点に立ち、意見を聞かなければならない』と定め、認知症とともに生きる本人を重視している。本人が好きたった色や思い出の場所などをとめて

おんごごによって、認知症になったときも自分らしく暮らせる支援につながる。本区においても、このような立場に立つて認知症施策を行い、自分らしく住み続けられるまじづくりを進めるべき」と主張した。

区の担当課長は、「高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画の中で検討する」と答弁しました。

粗大ごみの収集が、現在3週間から4週間待ちとなっております。「引越しの時に困る」などの声が寄せられています。はら区議は、隅田川沿いのストックヤード（現在、空き缶を保管。首都高の下で、周辺に民家なし）の活用と、中型トラックの増車を求めました。区では現在、2トン車

の活用と中型車の導入を行い、1週間程度の短縮を目指す。改善が見られれば、さらに中型車も増やす」と答弁しました。



ストックヤードを視察する、はら区議

## 全ての給食調理室にエアコンを はら区議が主張し、各党が一致

学校の給食調理室は、中学校で1校、小学校17校がエアコン未設置で、8月には熱中症になってしまった調理員も生まれませんでした。はら区議は、「学校衛生管理基準では、給食調理室を25度以下にしているのに、実際には40度を超す日もある。調理員の体調と、衛生基準からも問題。区の計画ではエアコンの給食室への

全校設置に6年間もかかるが、前倒して整備すべき」と質しました。その後、自民・公明からも同様の質問が出され、早期整備は各党派の共通認識となりました。決算では28億円も財政調整基金に積み立てており、その一部を活用するだけで実現できます。

## 「粗大ごみの収集を早く」はら区議

### 区「ストックヤードの活用と収集車増で改善したい」

粗大ごみの収集が、現在3週間から4週間待ちとなっております。「引越しの時に困る」などの声が寄せられています。はら区議は、隅田川沿いのストックヤード（現在、空き缶を保管。首都高の下で、周辺に民家なし）の活用と、中型トラックの増車を求めました。区では現在、2トン車の活用と中型車の

# 区政への要望が次々と 党区議団が区政懇談会開く



区政懇談会で報告する、はら区議団長

日本共産党区議団は10月24日、すみだ生涯学習センターで区政懇談会を開きました。はら区議団長が決算特別委員会で提出された資料を使って、今の区政の動向や区民の生活実態を報告しました。参加された方々から、「区政の最大の争点は何か」、「墨田区の学力が上がっていると言われているが、バラつきがでてきている」、「教育委員会では、できる子を更に伸ばすことが議論されているが、それはおかしいのでは。本来なら全体の底上げを図るべき」、「親水公園に、子どもが使えるシャワーや着替えをさせる場所を設置して欲しい」、「区が発行している事業概要等を販売してほしい」、「区の防災予算の推移は」などの意見、ご要望が寄せられました。



## シリーズ

7月のある日、共立診療所の近くに住む75歳の男性が、江東区の私の診療所に夕方、左足を引きずって来院した。仕事はトラックの運転手で、退職後は心筋梗塞を発症して病院通いをしてきた。話を聞くと、左膝から下が痛く、足が動かないという。私の診療所に通院していたので、わざわざ遠くから来たのだ。おどろきました。私は翌日、柳原病院を受診させたために紹介状を書き、一緒

## すみだ共立診療所 吉沢先生にきく

### 歩行障害の男性

歩行不安定、屋内つたい歩き、屋外歩行器レベルまで改善した。そして先日、わざわざ江東まで来て、すみだ共立に転院したいと言ってきた。これにもおどろいた。でも無事に歩いて良かった。今まで夜、血圧の薬を取りに来ていた患者です

にタクシーで墨堤通りの患者の自宅まで帰りました。あとでわかりましたが、MRIにて右の脳梗塞の診断でした。8月下旬、都立リハビリ病院に入院。左マヒと、ふらつきがあり、歩行不安定、屋内つたい歩き、屋外歩行器レベルまで改善した。そして先日、わざわざ江東まで来て、すみだ共立に転院したいと言ってきた。これにもおどろいた。でも無事に歩いて良かった。今まで夜、血圧の薬を取りに来ていた患者です